

日本労働年鑑 第52集 1982年版
The Labour Year Book of Japan 1982

第一部 労働者状態

VI 農家の状態と農民の生活

1 農家と農家人口

5 農家子弟学卒者の動向

農家子弟の学卒者数

農水省統計情報部は、農家子弟のうち毎年三月に中学校以上の学校を卒業した者の卒業後の動向を七月一日現在(一九七七年以前は四月三〇日)で調査し、『農家子弟の新規学卒者の動向』として公表している。これによると、一九八〇年三月に中学校以上の学校を卒業した農家子弟は前年に比べ二%減少し七三万人となった(第69表)。これを学校別にみると、中卒者は三二万人(全体の四四%)、高卒者三三万人(四六%)、短大・大卒五万人(七%)、その他卒三万人(四%)で、実数は前年に比べ一~二%減少した。七八年まで増加傾向にあった短大・大卒は前年以来減少に転じ、今回も減少した。

農家子弟学卒者の卒業後の動向

同じ新規学卒者調査により農家子弟の卒業後の状況をみると、進学者は四五万人、就業者は二六万人で、それぞれ構成比は六二%、三六%であった。就業者のうち、主として自家農業に就業した者は対前年比三%減少し七〇〇〇人となった。この結果、農業就業率は前年を〇・二ポイント下回り二・七%に低下した。この農業就業率の低下は、自家農業就業者のほぼ六割を占める男の「あとつぎ」にも強くみられ、それは前年比一・七ポイント減の五・八%にまで低下した。

日本労働年鑑 第52集 1982年版

発行 1981年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月18日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1982年版(第52集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)